

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	カワサキイカダ イカ クワコ ウリョウセンター
		川崎医科大学総合医療センター
所在地		岡山県岡山市北区中山下二丁目6番1号
管理者氏名		病院長 猶本 良夫
承認年月日		平成27年6月2日
業務報告書提出日		令和5年9月26日

II 業務報告

対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%超、逆紹介率40%超	
紹介率	$① / (② - (③ + ④ + ⑤)) \times 100$	69.0 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	9,817 人
	②初診患者数	17,499 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	2,230 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	1,041 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0 人
逆紹介率	$⑦ / (② - (③ + ④ + ⑤)) \times 100$	83.8 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	11,928 人

2 共同利用の実績

高額医療機器共同利用件数	799件
共同利用病床数	5床
共同利用病床利用率	34.1%
共同利用施設・設備	開放病床(5床)、大型医療機器MRI他、患者図書室(健康のまなびや)
登録医療機関数	152機関

3 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択すること】

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	3,391人(1,798人)
救急搬送以外の救急患者数	3,189人(528人)
合計(うち初診患者数)	6,580人(2,326人)

※括弧内は、入院を要した患者数

(2) 救急医療圏（2次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数 (初診患者のみ)	人
B：救急医療圏（2次医療圏）人口※	人
C：A/B×1000>2	(小数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当2次医療圏における市区町村人口の総和）を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・せとうちクリニカル・ベストプラクティス・ミーティング（6回開催） ・連携フォーラム（6回開催） ・医介連携の会in Kawasaki（2回開催） ・かわさき在宅医療推進カンファレンス（5回開催） 	
地域の医療従事者への実施回数		20回
合計研修者数 ※院外からの延べ参加人数		337人
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	16人
研修施設	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎祐宣記念ホール ・かわさきコミュニティホール 	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	病院長	
管理担当者	病院長	
診療に関する諸記録の保管場所	病院庶務課・診療録管理室	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	地域医療連携室
	地域医療従事者向け研修の実績	地域医療連携室
	閲覧実績	地域医療連携室
	紹介患者に対する関係帳簿	地域医療連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長		
閲覧担当者	患者診療支援センター 課長		
閲覧に応じる場所	患者診療支援センター 地域医療連携室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を 紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	4回		
委員会の概要	<p>地域医療支援事業運営委員会及び開放病床運営委員会</p> <p>①令和4年4月20日 ②令和4年7月20日 ③令和4年10月19日 ④令和5年1月18日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率推移 ・ 高額医療機器共同使用状況 ・ 救急受け入れ状況 ・ 開放病床登録医療機関の現状 ・ 開放病床利用実績 		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口・相談室・地域医療連携室		
主たる相談対応者	医療ソーシャルワーカー 8名		
相談件数			12,596件
相談の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 療養中や退院後のさまざまな生活に関すること ・ 介護保険や娯婦会社手帳などの医療福祉制度について ・ 療養中のストレスや気持ちの整理について ・ 介護施設や関係機関の利用方法について ・ 医療費とその支払いに関すること ・ 家族や仕事に関すること ・ 病気やケガ、身体機能の変化とその対応に関すること <p style="text-align: right;">他</p>		

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組（任意）

（1）病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	公益財団法人日本病院機能評価機構 3rdG:Ver1.1～（平成29年10月6日認定）

注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

（2）果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	<p>①「Kawasaki info」（広報誌）をFAX、メール、訪問により発信 ・医師異動、新設科紹介、外来診療表、研修会、カンファレンスの案内等</p> <p>②「診療のご案内」（年1回発行） ・関連医療機関へ送付、訪問活動にて随時持参</p> <p>③USB配布し、自院動画による情報発信</p> <p>④テレビ・ラジオ・ホームページでの情報発信</p>

（3）退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の有無概要	<p>・患者診療支援センター内に配置 退院支援看護師（専従）1名（専任）5名、医療ソーシャルワーカー6名</p> <p>・退院支援として、入院後24時間以内に病棟看護師が退院支援のスクリーニングを行う。その後、退院困難な要因の有無により病棟看護師が医療ソーシャルワーカーへの介入依頼を行い、病棟看護師と医療ソーシャルワーカーが情報共有する。</p>

（4）地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<p>①策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・大腿骨頸部骨折（県南東部共通）、脳卒中（県南東部共通）、心不全・急性心筋梗塞（県南東部共通）</p> <p>②地域連携クリティカルパスの普及取組み ・岡山もも脳ネット事務局（岡山県南東部大腿骨頸部骨折・脳卒中連携パス運用会議開催 1回/年） ・医療・介護・福祉向けのセミナー開催</p>

病院名

川崎医科大学総合医療センター